

# 軟X線向け高輝度3GeV級放射光源の整備に係る費用の見積りについて

資料2-1  
科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会  
量子科学技術委員会  
量子ビーム利用推進小委員会(第14回)  
平成30年1月18日

量子科学技術研究開発機構

軟X線向け高輝度3GeV放射光源の施設・設備の整備に必要な経費について、現時点における試算を行った。  
(今後の詳細な検討や、パートナー決定後に建設地を含めて検討が行われる中で増減があり得る。)

## 概算総額：約340億円程度 (用地及び造成に係る経費は別途)

想定される国の分担： 約190億円～約200億円程度  
想定されるパートナーの分担： 約135億円～約150億円程度 + 用地取得・土地造成費

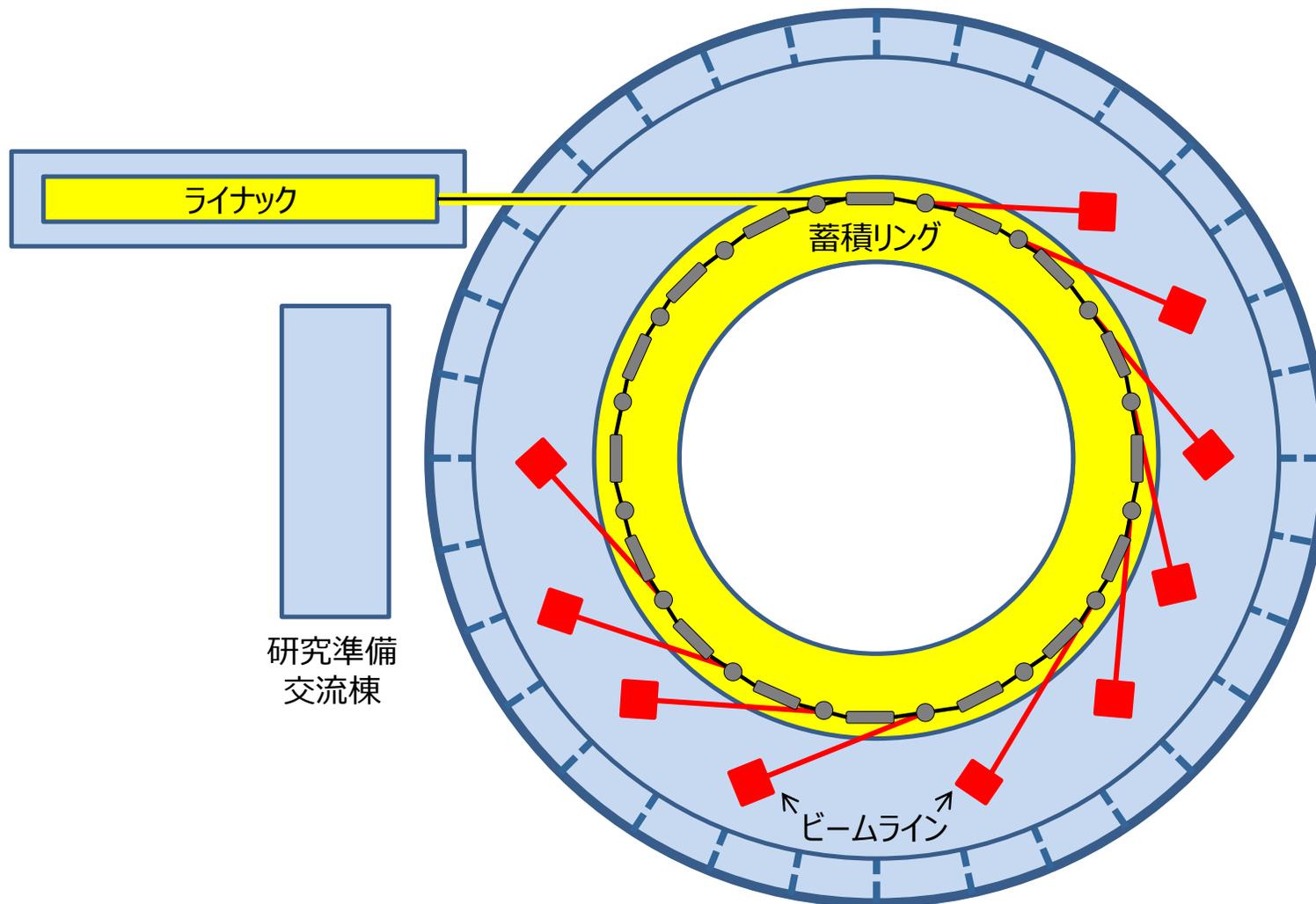
項目	内訳の合計	想定される役割分担
1) 加速器 (ライナック及び蓄積リング等)	約170億円	量研が国費において整備する。
2) 基本建屋	約80～85億円	パートナー(地域・民間)が国費以外の財源で整備する。
3) ビームライン (当初10ライン)	約60億円	量研が国費において整備するとともに、パートナー(地域・民間)が国費以外の財源で整備する。(分担は量研とパートナーとの協議による。)
4) 研究準備交流棟	約25億円	パートナー(地域・民間)が国費以外の財源で整備する。
5) 整備用地	整備用地状況により異なる	パートナー(地域・民間)が国費以外の財源で整備する。

※その他建設期間の業務実施費(建設工程の管理、事務管理費等)として2億円/年程度が必要。

# 軟X線向け高輝度3GeV級放射光源の整備に係る費用の見積りについて

【軟X線向け高輝度3GeV級放射光源の基本構造】

基本建屋



-  ... 量研が国費において整備する部分
-  ... パートナー（地域・民間）が国費以外の財源で整備する部分
-  ... パートナー（地域・民間）が国費以外の財源で整備するとともに、量研が国費において整備する部分